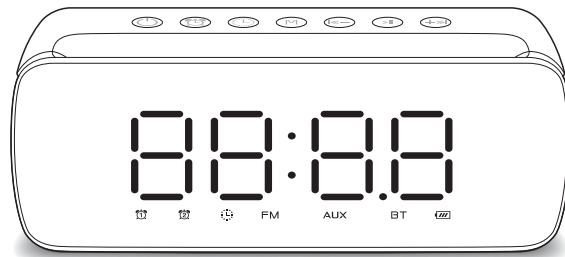


取扱説明書

ワイヤレスRGBスピーカー

型番：ASP-W450N-W/K

品番：03-3187/3188



OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
<http://www.ohm-electric.co.jp>

製品に関するお問い合わせは お客様相談室 へ	
●通話料無料 ●携帯・IP・公衆電話からは 0120-963-006 048-992-2735	
電話 受付	平日 9:00~17:00 ※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます
修理に関するご相談は 修理ご相談センター へ	
電話 受付	048-992-3970 平日 9:00~17:00 ※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

このたびは、AudioComm® ワイヤレスRGBスピーカーを
ご購入いただき、誠にありがとうございます。

本機の機能を十分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、
ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。

なお、お読みになられた後は、
ご使用時にいつでも見られますよう大切に保管してください。

目次

免責事項	1
充電式電池について	1
安全上のご注意	2~4
Bluetooth無線技術について	4~5
各部の名称	6
ディスプレイ表示の明るさを調節する	6
イルミネーションのオン/オフ	6
充電のしかた	7
電源のオン/オフとスタンバイモード	8
時刻設定のしかた	8
Bluetoothで音楽を聴く	9~10
ラジオを聴く	11~12
アラームの使いかた	13~14
外部機器と有線接続する	15
お手入れのしかた	15
故障かなと思ったら	16~17
主な仕様	17
保証書とアフターサービスについて	18

免責事項

下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- 弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
- 本製品によって生じたデータやプログラムの消失または破損
- 本製品のために費やした時間及び経費
- 本製品を運用した結果もたらされた損害
- 本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
- 本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

充電式電池について

- 充電式電池(リチウムポリマー電池：内蔵)は消耗品であり、正常に使用した場合でも経年により劣化します。また、電池の交換はできません。
- 充電式電池はリサイクルできます。廃棄については各自治体にご相談ください。

安全上のご注意

電気製品は間違った使いかたをすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階に表示しています。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の方への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。



危険

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。

絵表示の使用例



△記号は注意(危険、警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。左図の場合は「感電注意」が描かれています。



○記号は禁止の行為であることを告げるものです。左図の場合は「分解禁止」が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。左図の場合は「ACアダプターを家庭用コンセントから抜く」が描かれています。

危険



接触禁止

充電式電池が液もれしたときは、素手で触らない

- 万一、液もれしているのを見つけたら、素手で触らず、弊社修理ご相談センターにご連絡ください。
- 万一、液が目に入った場合は、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師の診察を受けてください。失明の原因となるおそれがあります。
- 液がからだや衣服についたときも、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときは医師に相談してください。

警告



22cm以上離す

- 心臓ペースメーカーを使っているときは装着部位から22cm以上離す
- 電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。



接触禁止

- 雷が鳴り始めたら、安全のため本機及び充電コードに触れない
- 感電するおそれがあります。

安全上のご注意(つづき)

警告

 使用禁止	万一、煙が出ている、変なにおいや音が出るなどの異常を感じたら、すぐに使用を中止する ●そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。 ●煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。 万一、内部に異物や水などが入った場合は、すぐに使用を中止する ●そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。 ●販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。
 分解禁止	分解、修理、改造しない ●火災や感電の原因となります。
 禁止	航空機内や医療機器の近くで使わない ●電波の影響で誤作動の原因になるおそれがあります。 火の中に入れない ●リチウムポリマー電池が内蔵されており、誤って火中に入ると、発熱、破裂、発火の原因になります。 付属の充電コード以外では充電しない ●火災や感電、機器の故障の原因となります。 本製品(充電コードを含む)の上に重いものをのせない ●破損や故障により火災や感電の原因となります。 充電コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない ●コードが傷ついて火災や感電の原因となります。 自動車の中や直射日光の当たる場所、火のそばなどでは使用しない。また絶対に放置しない ●高温になると、危険を防止するためリチウムポリマー電池が充電できなくなったり、保護回路が壊れて異常な電流や電圧で充電され、発熱、破裂、発火の原因になります。

注意

 水かけ禁止	水をかけたり、浴室など湿度の高い場所に放置しない ●故障の原因となります。
 音量は小さく	長時間、大音量で聴き続けない ●聴力障害などの原因となることがあります。
 使用禁止	本機を使用中に気分が悪くなった、ただちに使用を中止する
 禁止	振動や衝撃の多い場所、ぐらついた台の上、傾いた場所など、不安定な所に置かない ●落下してけがをする可能性があります。また、破損や故障の原因となります。

注意



禁止

本機をシンナーやベンジン、アルコールなどで拭かない ●変形や変色の原因となります。
充電コードを熱器具に近づけない ●コードの被ふくが溶けて、火災や感電の原因となります。
ほこりの多い場所に置かない ●火災・感電の原因となることがあります。
暖房器具や調理器具の近くなど、油・蒸気・熱のあたる場所に置かない ●破損や故障の原因となります。
自動制御機器(自動ドアや火災報知器など)の近くで使わない ●電波の影響で誤作動の原因になるおそれがあります。
充電コードのプラグを抜くときは、コードを引っ張らない ●コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグ部を持って抜いてください。
日本国以外では使用しない ●本機は日本国内専用です。 ●日本国内で正規に販売された接続機器以外との接続による安全性は保証いたしかねます。 ●海外では国によって電波使用制限が異なるため、本機を使用した場合、罰せられることがあります。

Bluetooth無線技術について

Bluetoothの特徴と本製品の対応バージョン及びプロファイル

Bluetoothは、パソコンやオーディオシステム、デジタルカメラなど、比較的距離の短いデジタル機器間で通信を行なう無線技術です。USBコードやオーディオケーブルで2つの機器間をつなぐ必要がなく、近距離(最大約10m以内)であれば、どこにいても無線通信により音楽を楽しむことができます。

Bluetoothは世界標準規格によって、特性・機能ごとに対応バージョンとプロファイルが規定されています。本製品は、以下のバージョン及びプロファイルに対応しており、ご利用にあたっては、通信相手となるBluetooth機器(相手側機器)においても、以下に挙げるいずれかのプロファイルに対応している必要があります。

※相手側機器が同じプロファイルに対応していても、本製品の性能・機能が制限される場合があります。

【対応バージョン】 Bluetooth標準規格 Ver.4.2

【対応プロファイル】 A2DP(高音質な音楽コンテンツを受送信するためのプロファイル)
AVRCP(再生、一時停止などオーディオ機器を操作するためのプロファイル)

※本製品はすべてのBluetooth機器との接続動作を保証したものではありません。

本製品の機器認定について

本製品は電波法にもとづく小電力データ通信システムの無線設備として認定を受けていますので、ご使用にあたって無線局の免許は必要ありません。ただし、本製品を分解・改造する行為、本製品に印刷してある定格表示を消したり読めなくする行為は、法律により罰せられることがあります。

※本製品は日本国内でのみ使用できます。

Bluetooth無線技術について(つづき)

通信可能範囲について

Bluetoothの通信可能範囲は最大約10mですが、人体、壁、金属などの障害物の有無や電波状態によって有効範囲が変化します。できるだけ障害物がない空間でご使用ください。

セキュリティについて

本製品はBluetooth通信時のセキュリティとして、標準規格に準拠したセキュリティ機能を有していますが、設定内容などによっては十分に対応できないおそれがあります。万一、情報漏洩などが発生しても、弊社としては一切の責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

使用周波数と注意事項

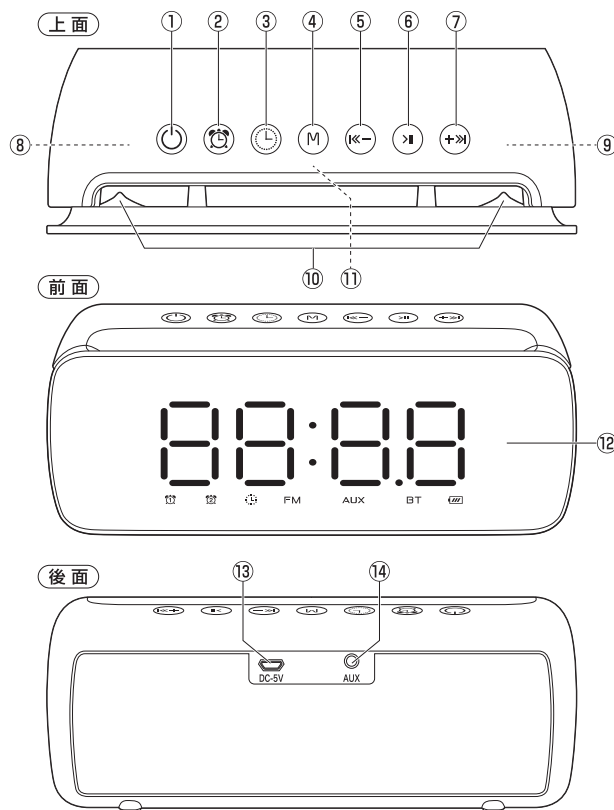
本製品の使用周波数帯(2.4GHz帯)では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許が必要)、特定小電力無線局(免許が不要)、及びアマチュア無線局(免許が必要)が運用されています。

1. ご使用の前に、近くで移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、及びアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 本製品の使用により、万一、移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の電源を切ってください。そのうえで弊社お客様相談室(保証書参照)にご連絡いただき、混信回避のための処置(例えばパーティションの設置など)についてご相談ください。
3. そのほか、移動体識別用の特定小電力無線局またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合やご不明点がございましたら、弊社お客様相談室までお問い合わせください。

医療機器の近くで使用する際は、特に注意してください

- 病院内など無線機器の使用を禁止された区域では、本製品の電源を切ってください。また、無線機器の使用が制限された区域では、施設管理者などに確認のうえ使用してください。他の機器に悪影響を与えたり、事故の原因となります。
- 医療機器及び人命に直接的または間接的に関わるシステム、高い安全性や信頼性が求められる環境下では絶対に使用しないでください。
- 医療機関内では次のことを守ってください。
 - ・ 手術室、集中治療室(ICU)、冠動脈疾患監視病室(CCU)には持ち込まない。
 - ・ 病棟内では使わない。
 - ・ ロビーなどでも周囲に医療機器がある場所では電源を切る。
 - ・ その他、医療機関による使用制限や使用禁止指示は必ず守る。
- 植込み型心臓ペースメーカー、または植込み型除細動器を装着している場合は、装着部から本製品を22cm以上離して携行及び使用してください。電波によりペースメーカー及び除細動器の動作に影響を及ぼすおそれがあります。
- 植込み型心臓ペースメーカー、または植込み型除細動器を装着している方で、自宅などでの療養中の方は、本製品をご使用になる前に、電波による影響について個別に医療機器メーカーなどにご確認ください。電波により医療機器の動作に影響を与えるおそれがあります。
- 混雑している場所では、周囲に植込み型心臓ペースメーカーまたは植込み型除細動器を使用している人がいる可能性があります。ご使用の際は十分にご注意ください。

各部の名称



- | | |
|----------------|------------------|
| ①電源ボタン | ⑧左スピーカー(内蔵) |
| ②アラームボタン | ⑨右スピーカー(内蔵) |
| ③時計ボタン | ⑩イルミネーションランプ |
| ④モード切替ボタン | ⑪パンプラジエーター(内蔵) |
| ⑤スキップ/音量ボタン(-) | ⑫ミラーディスプレイ |
| ⑥再生/一時停止ボタン | ⑬microUSB端子(充電用) |
| ⑦スキップ/音量ボタン(+) | ⑭外部音声入力端子 |

ディスプレイ表示の明るさを調節する

- 電源が入っているときに電源ボタンを押すと、ディスプレイ表示の明るさを調節できます。電源を押すたびに、「明」→「中」→「暗」→「非表示」に変化します。
- ディスプレイの明るさを「明」または「中」に設定している場合、何も操作しない時間が約5分間続くと、節電のため「暗」になります(充電時を除く)。

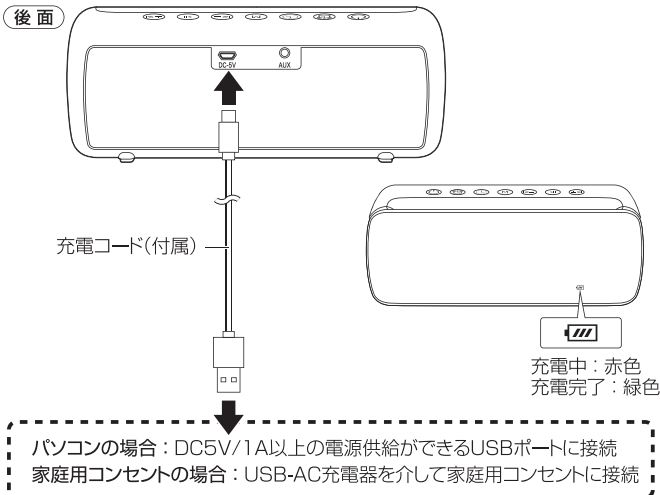
イルミネーションのオン/オフ

- 電源が入り各モード動作中は、ディスプレイ背面のイルミネーションがランダムに光ります。
- イルミネーションをオフにしたいときは、モード切替ボタンを長押ししてスタンバイモードにしてください。

充電のしかた

付属の充電コードで、本機背面のmicroUSB端子とパソコンのUSBポートなどを接続します。

充電が始まるとディスプレイに赤色の充電マーク(🔌)が点灯し、完了すると緑色に変わります(接続を解除すると消灯します)。



ヒントとご注意

- はじめてお使いになるときは、十分に充電してからご使用ください。
- 本機は充電中でも使用可能ですが、充電にかかる時間が長くなります。また、充電と同時にお使いの際は、音量が多少不安定になることがありますが、故障ではありません。
- 充電には必ず付属の充電コードをご使用ください。また、付属の充電コードは他の製品には使用しないでください。
- 本機をパソコンで充電するには、DC5V/1A以上の電源供給ができるUSBポートに接続する必要があります(パソコンによっては電圧不足の場合がありますのでご注意ください)。また、本機とパソコンは直接つないでください。USBハブなどを介してつなぐと正常に充電されません。また、充電中にパソコンが省電力モードになると正しく充電されませんのでご注意ください。
- 家庭用コンセントで充電する場合はUSB-AC充電器(別売)をご利用ください。
- 残量ゼロからフル充電まで約3時間かかります。十分に充電したにも関わらず持続時間が半分程度になった場合は、電池の寿命と考えられます。
- 許容動作環境(温度：0℃～40℃、湿度：20～80% 結露なし)を逸脱した環境下で充電した場合、充電が完了していても充電マークが消灯することがあります。適正な環境下で再度試し、それでも問題が解決しない場合は弊社修理で相談センターにご連絡ください。
- 長期間使わなかったときは電池の持続時間が短くなることがあります。何回か充放電を繰り返すと、十分に充電できるようになります。電池の寿命を延ばすため、未使用時でも3ヶ月ごとに充電し直すことをおすすめします。

電源のオン／オフとスタンバイモード



電源のオン／オフは電源ボタンを長押ししてください。

- 電源が入ると、ディスプレイが全灯表示になったあと、現在の時刻表示になります(スタンバイモード)。
- 電源を切るときは、電子音が流れた後、ディスプレイの表示が消えます。



スタンバイモードについて

本機のスタンバイモードとは、ファンクションが何も選ばれておらず、現在の時刻のみを表示している状態を言います。

- 電源を入れた直後はスタンバイモードになります。その後、モード切替ボタンを押すことでファンクションを切り換えることができます。
- ファンクションを終了し、スタンバイモードに戻るには、モード切替ボタンを長押しします。

ヒントとご注意

- 電池残量が少なくなると、約30秒間隔で電子音が鳴り始め、しばらくすると電源が切れます。早めに充電してください。
- しばらく使わないときは、電池の消耗を抑えるため、電源を切ってください。
- 本書ではスタンバイモードから各操作方法を説明していきます。その際、ディスプレイの明るさが「非表示」になっていると、ディスプレイには何も表示されません。電源ボタンを押し、「非表示」以外にしてから操作してください。

時刻設定のしかた



時計ボタン

スキップ／音量
ボタン(－)

スキップ／音量
ボタン(+)

1 電源オンの状態で時計ボタンを長押しします。

- 時計マーク(🕒)と「時」表示が点滅します。
- 本機の時刻表示は24時間形式です。



2 スキップ／音量ボタン(－／＋)を押して「時」を設定し、時計ボタンを押します。

- スキップ／音量ボタン(－／＋)を長押しすると、数字を速く送ることができます。
- 時計ボタンを押すと「分」表示が点滅します。



3 スキップ／音量ボタン(－／＋)を押して「分」を設定し、時計ボタンを押します。

- 時計ボタンを押すと点滅が止まり設定が確定します。



ご注意

何も操作しない時間が約1分間続くと設定操作がキャンセルされます。必要に応じて最初からやり直してください。

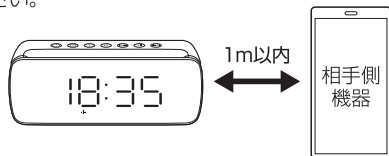
Bluetoothで音楽を聴く

ペアリングのしかた

ペアリングとは、本機を相手側のBluetooth機器(相手側機器:スマートフォンやBluetooth対応ワイヤレス音楽プレーヤーなど)に初期登録する操作のことです。はじめて使うときは必ずペアリングを行なってください。

1 手元に本機と相手側機器を用意します。

- 障害物があるときは取り除き、相手側機器は電源が入った状態にしてください。



2 モード切換ボタンを押して、BT(Bluetooth)を選びます。

- モード切換ボタンを押すたびに、BT(Bluetooth)→FM(ラジオ)→AUX(外部音声入力)が切り換わります。
- BTを選ぶと、電子音が鳴った後、Bluetoothマーク(BT)が速く点滅し、サーチモード(Bluetooth機器を探している状態)になります。



3 相手機器側で本機を登録してください。

Bluetooth の設定画面を開く

iPhone : [設定]→[Bluetooth]

Android : [設定]→[その他の設定]→[Bluetooth]
[設定]→[無線とネットワーク]→[Bluetooth 設定]

NTT docomo : [アプリ]→[設定]→[Bluetooth]

SoftBank : [設定]→[端末設定]→[無線とネットワーク]→[Bluetooth]

au : [設定]→[端末設定]→[無線とネットワーク]→[Bluetooth 設定]

Windows Mobile : [設定]→[接続]→[Bluetooth]

上記は参考例です。機種や搭載OSのバージョンなどにより、ボタンや項目の名称、画面展開が異なります。各機器付属の取扱説明書を参照してBluetooth機器の検索・登録画面へ順次進んでください。

本機を登録する

相手側機器で本機の名称「ASP-W450N」が表示されたら、それを選択して登録します。パスキーやPINコードを求められた場合は「0000」と入力してください。

※機器によってはご自身で設定されたパスコードが必要な場合があります。

本機とのペアリングが完了すると…

電子音が流れた後、Bluetoothマークの点滅が点灯に変わります。相手側機器で再生などの操作を行なってください。

ヒントとご注意

- 本機はBluetooth標準規格 Ver.4.2(プロファイル: A2DP, AVRCP)に対応しています。複数のプロファイルに対応している機器の中には、プロファイルの選択が必要な機種もあります。その場合は、上記のいずれかを選択してください。上記以外のプロファイルでの動作は保証しかねます。
- 相手側機器が他の周辺機器とBluetooth接続を行なっているときは、本機とのペアリング操作ができないことがあります。その際は、他機との接続を解除したうえで本機とペアリングしてください。
- ペアリング後、使用中に接続がうまく行かなくなったり、正常に動作しなくなったときは、本機の電源を切り、しばらくしてから入れ直してみてください。また、相手側機器のBluetooth設定画面を開き、本機との接続を確認してください(接続中の状態にあるときは、いったん解除した後、もう一度接続してください)。それでも正常に戻らない場合は、相手側機器で本機の登録を削除し、改めてペアリングし直してください。

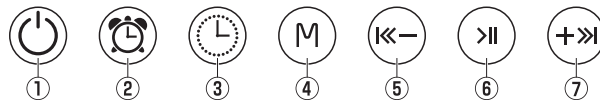
2 回目以降の接続とオーディオコントロール

1 モード切換ボタンを押して、BT(Bluetooth)を選びます。

- 事前に相手側機器の電源が入っており、Bluetooth機能も有効になっていることを確認してください。
- 電子音とともにBluetoothマーク(BT)がしばらく点滅した後、自動接続します。

2 相手側機器で再生などの操作をします。

- Bluetooth接続しているときの本機的主要なボタン機能は、以下のとおりです。



- ① 電源ボタン: 短く押すとディスプレイ表示の明るさが変わります。長押しすると電源が切れます。
- ② アラームボタン: アラームを設定する表示になります。
- ③ 時計ボタン: 長押しすると時刻を設定する表示になります。
- ④ モード切換ボタン: 短く押すたびにモードが切り換わります。長押しするとスタンバイモードになります。
- ⑤ スキップ/音量ボタン(-): 短く押すと音量が下がります。長押しすると、曲の先頭に戻って再生。その後、すぐにもう一度長押しすると一つ前の曲を再生します。
- ⑥ 再生/一時停止ボタン: 短く押すと再生を一時停止し、もう一度押すと再開します。長押しするとBluetooth接続を切ります(その後、短く押すと再接続します)。
- ⑦ スキップ/音量ボタン(+): 短く押すと音量が上がります(最大時は電子音が鳴ります)。長押しすると、次の曲を再生します。

3 終了するときは、モード切換ボタンを長押ししてスタンバイモードにします。

ラジオを聴く

※本機のラジオはFM受信専用です。AMは受信できません。



時計ボタン



スキップ／音量
ボタン(－)



スキップ／音量
ボタン(+)

- 1 モード切換ボタンを押して、FM(ラジオ)を選びます。

- モード切換ボタンを押すたびに、BT (Bluetooth)→FM(ラジオ)→AUX(外部音声入力)が切り換わります。
- FMを選ぶと、電子音が鳴った後、周波数を表示します。



- 2 再生／一時停止ボタンを長押しします。

- 周波数が自動で送られ、受信可能な放送局を順次登録していきます(オートスキャン：最大20局まで)。できるだけ電波状況の良い場所で行なってください。
- オートスキャンが終わると、最初に登録された放送局(P01)を受信します。



登録番号の表示例

- 3 スキップ／音量ボタン(－／＋)を押して、音量を調節します。

- 音量の上げすぎにご注意ください。



音量の表示例

- 4 登録された放送局の中からお聴きになりたい放送局を選ぶには、スキップ／音量ボタン(－／＋)を長押しします。

- スキップ／音量ボタン(－／＋)の長押しを繰り返すたびに、登録された放送局の中から受信局が送られます。
- 登録番号→周波数の順で表示され、さらにしばらくすると現在の時刻表示になります。



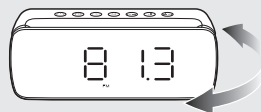
- 5 ラジオ受信中に再生／一時停止ボタンを押すと、消音になります。

- もう一度押すと元に戻ります。

- 6 終了するときはモード切換ボタンを長押しして、スタンバイモードにします。

ヒント 受信状態を良くするには

本機にはアンテナが内蔵されています。本機を置く場所や方向を変えて、受信状態が最も良くなるように調節してください。室内の場合、窓際のほうがより良く受信できます。



手動で任意の放送局を受信するには

- 1 再生／一時停止ボタンを短く2回続けて押します。

- 周波数表示が点滅します。



- 2 スキップ／音量ボタン(－／＋)を押して、お聴きになりたい放送局の周波数に合わせます。

- 周波数表示は約30秒間点滅します。点滅している間に周波数を合わせてください。
- 周波数を合わせた後、約30秒間そのままにすると、現在の時刻表示になります。



ヒントとご注意 任意の放送局をメモリー登録するには

上記ステップ②の後、もう一度、再生／一時停止ボタンを短く2回続けて押してください。周波数の点滅が止まります。

- 手動で登録した放送局は、オートスキャンによる登録番号の次の番号から順に割り振られ、スキップ／音量ボタン(－／＋)の長押しを繰り返すことで選局できます。
- ただし、手動登録後にオートスキャンを行なうと、登録内容が破棄されますのでご注意ください。

ヒント FM補完放送「ワイドFM」について

本機はFM周波数帯域が76～108MHzまであり、FM補完放送「ワイドFM」に対応しています。FM補完放送「ワイドFM」とは、AM放送局の放送区域において難聴対策や災害対策のために新たにFM放送用に割り当てられた90.1～94.9MHz周波数帯域を用いて補完的にAM番組を放送することです。

FM補完放送「ワイドFM」の開始時期、放送局、使用周波数、聴取可能エリアなどは地域により異なります。詳細は各地域のラジオ局ホームページなどをご覧ください。

アラームの使いかた

本機にはアラームが2系統あり(アラーム1とアラーム2)、それぞれ起動時刻やアラーム音(5種類の電子音またはラジオから選択)、音量などを設定できます。

設定のしかた



- 1** アラームボタンを1回または2回押します。
 - アラーム1を設定する場合は1回、アラーム2を設定する場合は2回押してください。該当するアラームマークが速く点滅します。
- 2** アラームボタンを長押しします。
 - 起動時刻の「時」表示がアラームマークとともに点滅します。
- 3** スkip／音量ボタン(－／＋)を押して「時」を設定し、アラームボタンを押します。
 - アラームボタンを押すと「分」表示が点滅します。
- 4** スkip／音量ボタン(－／＋)を押して「分」を設定し、アラームボタンを押します。
 - アラームボタンを押すと音量レベルが点滅します。
- 5** スkip／音量ボタン(－／＋)を押して音量を設定し、アラームボタンを押します。
 - 音量は適切に設定してください。
 - アラームボタンを押すと、アラーム音の設定表示になります(このとき電子音「5 1」のサンプル音が鳴ります)。
- 6** スkip／音量ボタン(－／＋)を押してアラーム音の種類を設定し、アラームボタンを押します。
 - スSkip／音量ボタン(－／＋)を押すたびに表示されるアラーム音が変わります。
 - 「5 1」～「5 5」はそれぞれ異なる電子音で、選択時にサンプル音が鳴ります。また、「5 6」はラジオをアラーム音にする設定です。
 - 「5 1」～「5 5」を選んだ場合はステップ⑧に進んでください。
- 7** 【ステップ⑥でラジオを選んだ場合のみ】スSkip／音量ボタン(－／＋)を押して放送局を設定し、アラームボタンを押します。
 - 周波数を設定してください。
- 8** スSkip／音量ボタン(－／＋)を押して「on」を選び、アラームボタンを押します。
 - 設定が確定し、現在の時刻表示に戻ります。アラーム設定が有効なときはアラームマークが表示されます。

ヒントとご注意

- 何も操作しない時間が約1分間続くと、設定がキャンセルされます。必要に応じて最初からやり直してください。
- 一度設定したアラームの内容を変更するには、ステップ①から操作を進め、該当する箇所を修正してください。

アラームが鳴ったら

アラームの起動動作について

- アラーム音は徐々に大きくなっていきます。
- アラームが起動すると、アラーム音とともにアラームマークが点滅します。その後、何も操作しないと、約5分間鳴り続けて一旦停止します(この間もアラームマークが点滅します)。
- さらに何も操作しない状態が続くと、5分後に再度起動します
- 本機のアラームはこの動作を10回繰り返し、その後、完全停止します。

アラームを止めるには

- 本機上面のいずれかの操作ボタンを押すと、アラームが止まります。ただし、この状態ですとディスプレイにアラームマークが表示されており、翌日の同じ時刻に再び起動します。

アラームの設定自体を解除するには

- アラームが鳴っているとき、または一旦停止中にアラームボタン(起動中のボタン)を長押しすると、アラームの動作が終了し、同時に設定自体も解除されます(アラームマークが消えます)。

アラームが起動する前や停止後に設定自体を解除するには

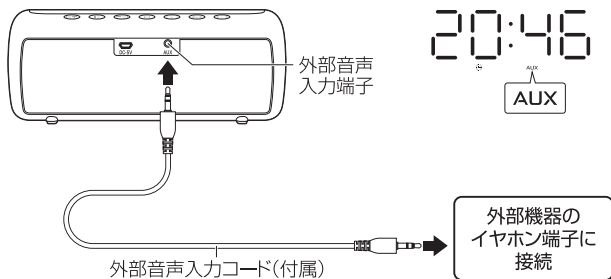
ステップ①から操作を進め、ステップ⑧で「on」を「OFF」に変更し、アラームボタンを押してください(アラームマークが消えます)。

外部機器と有線接続する

Bluetoothに対応していない外部機器(ポータブルCDプレーヤーなど)の場合は、外部音声入力コード(付属)を使って有線接続することにより、音楽を楽しむことができます。

1 外部機器の電源が切れた状態で、下図を参照して本機と接続します。

- 本機がスタンバイモードの状態では接続すると、自動的に外部音声入力モードになり、AUXが表示されます。



2 外部機器の電源を入れ、外部機器側で再生などの操作をします。

- 音量調節は本機、外部機器双方で可能ですが、本機側の設定を大きくしすぎると他のファンクションに移行したとき、突然大きな音が出る場合がありますのでご注意ください。

本機で可能な操作例(接続する機器により異なります)

ボタン	操作
再生/一時停止ボタン	消音⇔消音解除
スキップ/音量ボタン(+)	音量を上げる
スキップ/音量ボタン(-)	音量を下げる

3 終了するときは、外部機器の電源を切ります。その後、モード切換ボタンを長押しして、スタンバイモードにします。

- 上記操作の後、接続を解除してください。

お手入れのしかた

※必ず電源を切ってから行なってください。

- 本機の表面が汚れたら、柔らかな布でから拭きしてください。汚れがひどい場合は、水で布を湿らすか、中性洗剤を少し布につけて拭き、その後から拭きをしてください。
- シンナーやベンジン、アルコールなどは使わないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。



シンナー、ベンジン、
アルコールは
使用しないでください。

故障かなと思ったら

全般(共通)

- 電源が入らない
 - ・十分に充電しましたか。
- 充電できない
 - ・本機とパソコンなどが正しく接続されていますか。
 - ・付属品ではない充電コードを使用していないですか。
 - ・USBハブなどを経由して接続していないですか。
 - ・パソコンが省電力モードやスリープモードになっていませんか。
- 音が出ない
 - ・音量が最小になっていたり、消音になっていませんか。
 - ・正しいファンクションが選ばれていますか。
- ディスプレイが表示されない
 - ・ディスプレイの明るさ調節が「非表示」になっていませんか。電源が入っている状態で電源ボタンを短く押し、確認してください。
- イルミネーションが点灯しない
 - ・イルミネーションの設定が非点灯になっていませんか。電源ボタンを2回続けて押して、点灯と非点灯を切り換えてください。

Bluetooth

- ペアリングができない
 - ・本機及び相手側機器の電源は入っていますか。
 - ・ファンクションはBluetoothが選ばれていますか。
 - ・相手側機器は本機のプロファイルに対応していますか。
 - ・相手側機器との間に障害物があったり、距離が離れすぎていませんか。
- Bluetooth接続ができない
 - ・本機及び相手側機器の電源は入っていますか。
 - ・ファンクションはBluetoothが選ばれていますか。
 - ・相手側機器が他の機器と通信していませんか。
 - ・相手側機器がスリープ状態になっていませんか。
 - ・相手側機器内で本機の登録が削除されていませんか。
- 音が出ない
 - ・ペアリングは行ないましたか。
 - ・相手側機器の音量が最小または消音になっていませんか。
 - ・再生が一時停止になっていませんか。
- ノイズやエコー音がする
 - ・相手側機器との間に障害物があったり、距離が離れすぎていませんか。
 - ・無線通信を阻害する電磁波や無線LAN環境の近くで使用していませんか。

ラジオ

- オートスキャンで登録ができない・雑音が多い
 - ・電波状況が良くない場所で使っていないですか。本機の向きを調節する、窓際に置くなど、できるだけ電波状況の良い環境で使ってください。
- 音が出ない
 - ・周波数は合っていますか。

